

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
1. 現状の概要と今後の方向性	地区協会 1種 委員会 連盟
<p>障がい者サッカー 2016年度よりパラ・サッカーフェスティバルとして各カテゴリーのチームの方々と目標の1つでもあるそのをを広げる為に行っているが、現状では一般の人（健常者含む）の参加は少ない。今後は広告・ホームページ掲載・各市町村との連携などに力を入れ障がい者・健常者混合で行いたい。カテゴリーもブラインド・CP・知的障害の3カテゴリーの参加のみであるが、新潟県で活動しているデフ・車椅子サッカーの選手への参加依頼及び委員会の設立を目指す。</p> <p>スーパーリーグ 5チームの参加によるホームアンドアウェー方式のリーグ戦を行っている。ここ数年全予定試合数がこなせていない。目的として各チームのチーム力・指導力の向上とし、その成果を国体での好成績に繋げていきたい。併せて、審判員の育成及び運営力・記録作成能力のアップも図りたい。</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
2. 中期目標（2030年）	地区協会 1種 委員会 連盟
<p>障がい者サッカー ・障がい者サッカー委員会の設立 ・各カテゴリーのチーム数の増加 ・各カテゴリー 1チーム → 3チーム ・フェスティバル開催回数の増加 年 1回 → 3回</p> <p>スーパーリーグ ・参加チームの増加 5 → 8チーム ・国体チームの参加 ・本国体への連続出場</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
3. 長期目標（2050年）	地区協会 1種 委員会 連盟
<p>障がい者サッカー ・各カテゴリー 6チーム以上 ・県内におけるリーグ戦開催 ・県内での公式戦開催</p> <p>スーパーリーグ ・参加チーム増加 10チーム ・本国体での優勝 ・各公式戦 全国大会優勝</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					地区協会 1種 委員会 連盟
No. と 事項	2022年具体的目標	2018年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1. 普及	障がい者サッカー各カテゴリー 参加者・チーム数の増加 スーパーリーグ開催を活かし 本国体への出場	各カテゴリー 1チームのみ 5チームの参加 予定試合がこなせない		障がい者サッカーへの認知度向上 公式戦ではない為各チーム スケジュール調整困難 グラウンド確保が難しい	ホームページ・広告などによる 周知 支援学校・小学校・中学校等での 体験会・講演 スーパーリーグ開催の意味合いの 再確認 他大会日程の把握
2. 運営	障がい者サッカー委員会 設立	1種委員会での事業		方向性の明確化	事業の目標・役員全員の意思統一
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2022年目標に向けての2018年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

5. 具体的アクション

1種 委員会
連盟
地区協会

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1	役員全員	フェスティバル開催 までに	各地域・地区で	ホームページ・広告など	作成・配布する
	各カテゴリー	通年	各地域・地区で	体験会・後援	出張開催する
	役員全員	スーパーリーグ開催前 (4月中旬)		他大会・スーパーリーグ 開催日程	明確にする
2	障がい者 サッカー 関係者	2年後	新潟県サッカー協会内	障がい者サッカー委員会	設立する

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です